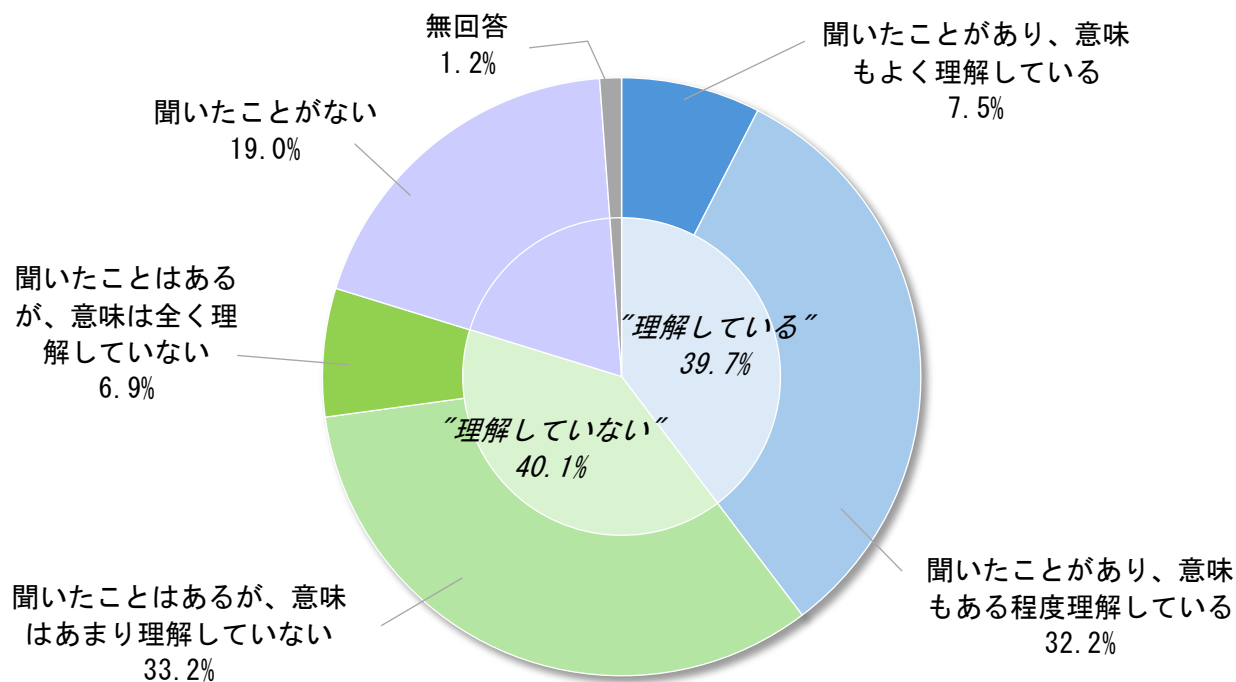


4 多文化共生社会について

(1) 「多文化共生社会」という言葉の認知状況

“理解していない”が40.1%

問14 「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの違いにかかわらず、全ての人が共に安心して暮らし活躍できる地域社会」のことを言います。あなたは、「多文化共生社会」という言葉をどの程度知っていますか。【〇は1つ】



件数=1,701

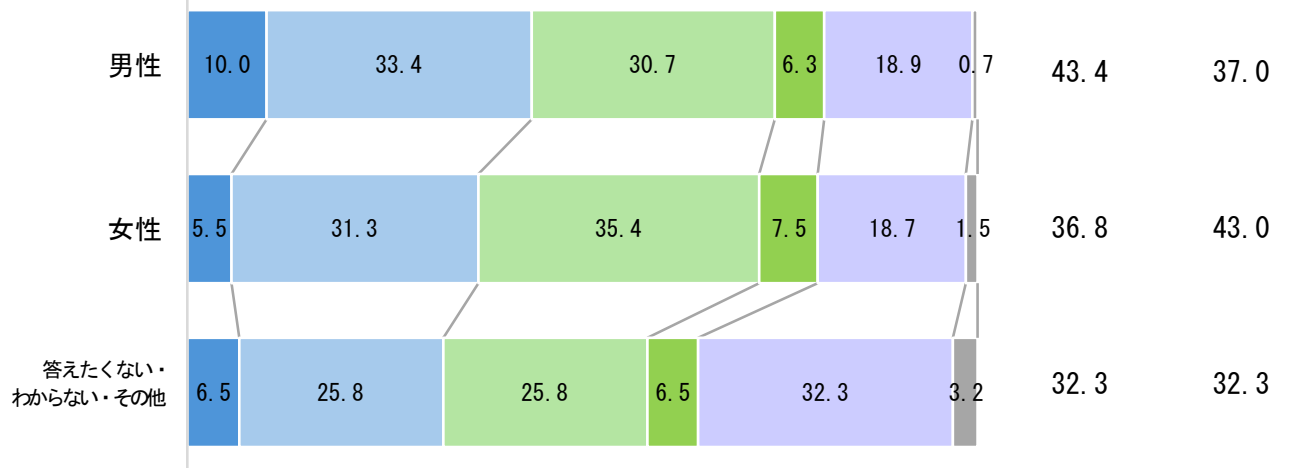
※円の内側の数値は、構成する選択肢の割合(%)を単純に足したのではなく、構成する選択肢の回答数(人)を足したうえで全体数除すことで算出した数値を記載しています。

「多文化共生社会」という言葉の認知状況について、「聞いたことがあり、意味もよく理解している」(7.5%)と「聞いたことがあり、意味もある程度理解している」(32.2%)を合わせた“理解している”と答えた人の割合は39.7%となっている。

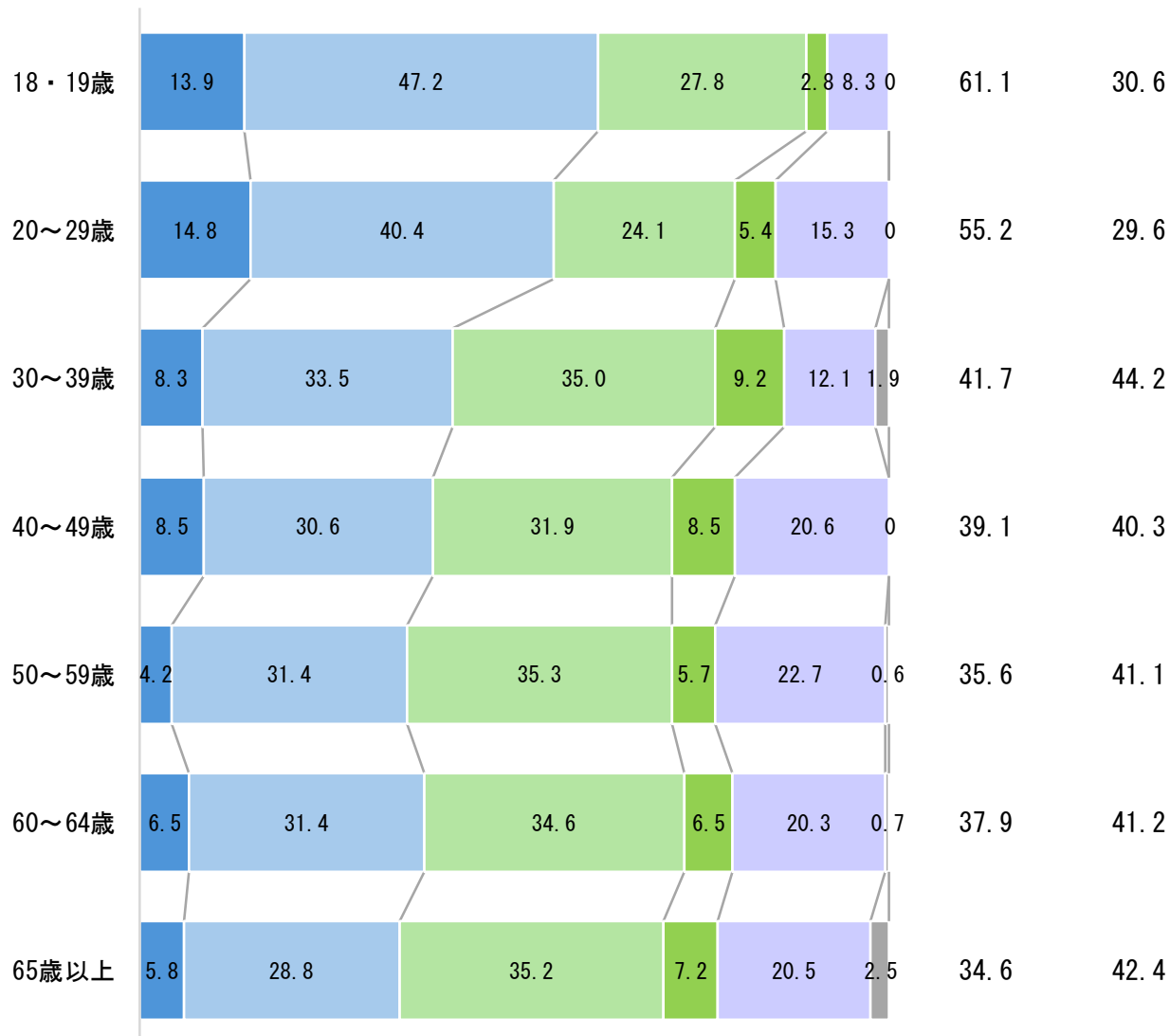
一方で、「聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない」(33.2%)と「聞いたことはあるが、意味は全く理解していない」(6.9%)を合わせた“理解していない”と答えた人の割合は40.1%となっている。

聞いたことがあり、意味もよく理解している	聞いたことがあり、意味もある程度理解している	聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない	聞いたことはあるが、意味は全く理解していない	聞いたことがない	無回答	(%)
----------------------	------------------------	-------------------------	------------------------	----------	-----	-----

<性別>



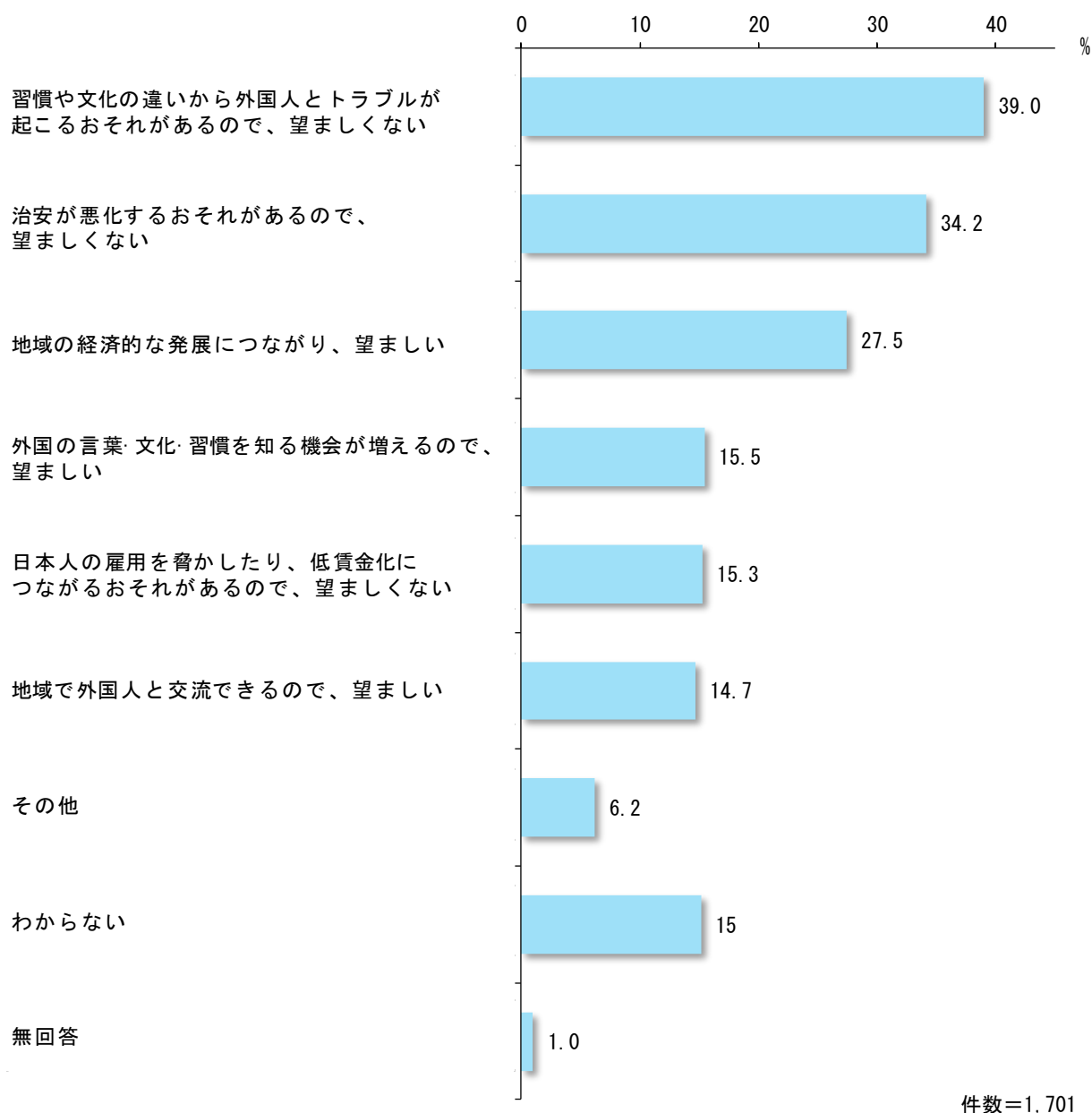
<年齢別>



(2) 県内に外国人住民が多いことに対する意識

「習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるおそれがあるので、望ましくない」が39.0%

問15 愛知県では、全国で3番目に多い約35万人の外国人の方が暮らしています。あなたは、愛知県に外国人が多いことについてどう思いますか。【○は複数可】



県内に外国人住民が多いことに対する意識について、「習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるおそれがあるので、望ましくない」と答えた人の割合が39.0%と最も高く、続いて「治安が悪化するおそれがあるので、望ましくない」(34.2%)、「地域の経済的な発展につながり、望ましい」(27.5%)の順となっている。

(%)

習慣や文化の違いから外国人
とトラブルが起こるおそれ
があるので、望ましくない

治安が悪化するおそれ
があるので、望ましくない

地域の経済的な発展に
つながり、望ましい

< 性 別 >

男 性	41.3	34.8	30.5
女 性	37.3	33.4	25.3
答えたくない・ わからない・その他	41.9	45.2	19.4

< 年 齢 別 >

18・19歳	19.4	38.9	13.9
20～29歳	54.2	49.3	15.8
30～39歳	48.5	45.1	22.3
40～49歳	42.3	41.9	29.0
50～59歳	43.2	36.0	25.4
60～64歳	32.7	29.4	28.1
65歳以上	28.6	20.1	35.4

外国の言葉・文化・習慣を
知る機会が増えるので、
望ましい

日本人の雇用を脅かしたり、
低賃金化につながるおそれ
があるので、望ましくない

地域で外国人と交流できる
ので、望ましい

< 性 別 >

男 性	13.8	14.4	14.6
女 性	16.6	16.1	15.0
答えたくない・ わからない・その他	19.4	12.9	9.7

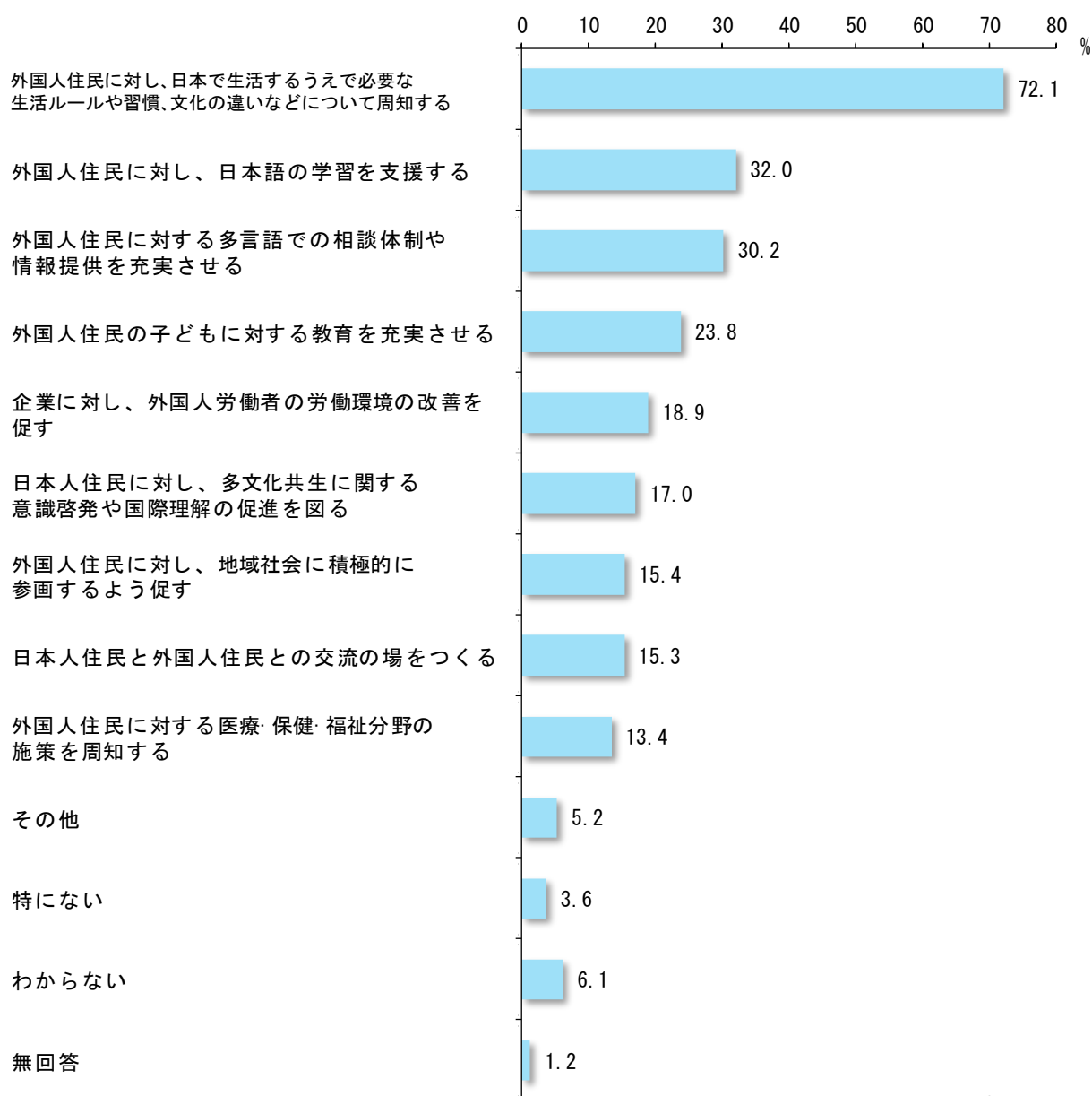
< 年 齢 別 >

18・19歳	25.0	13.9	38.9
20～29歳	12.3	21.2	14.8
30～39歳	16.5	24.3	11.2
40～49歳	16.1	20.6	15.7
50～59歳	15.7	15.7	16.9
60～64歳	15.0	9.2	15.7
65歳以上	15.1	8.7	12.2

(3) 多文化共生のために行政が力を入れるべき取組

「外国人住民に対し、日本で生活するうえで必要な生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が72.1%

問16 あなたは、日本人住民と外国人住民とが共に暮らしやすい社会にしていくために、県や市町村などが、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。【〇は複数可】



件数=1,701

多文化共生のために行政が力を入れるべき取組について、「外国人住民に対し、日本で生活するうえで必要な生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」と答えた人の割合が72.1%と最も高く、続いて「外国人住民に対し、日本語の学習を支援する」(32.0%)、「外国人住民に対する多言語での相談体制や情報提供を充実させる」(30.2%)の順となっている。

(%)

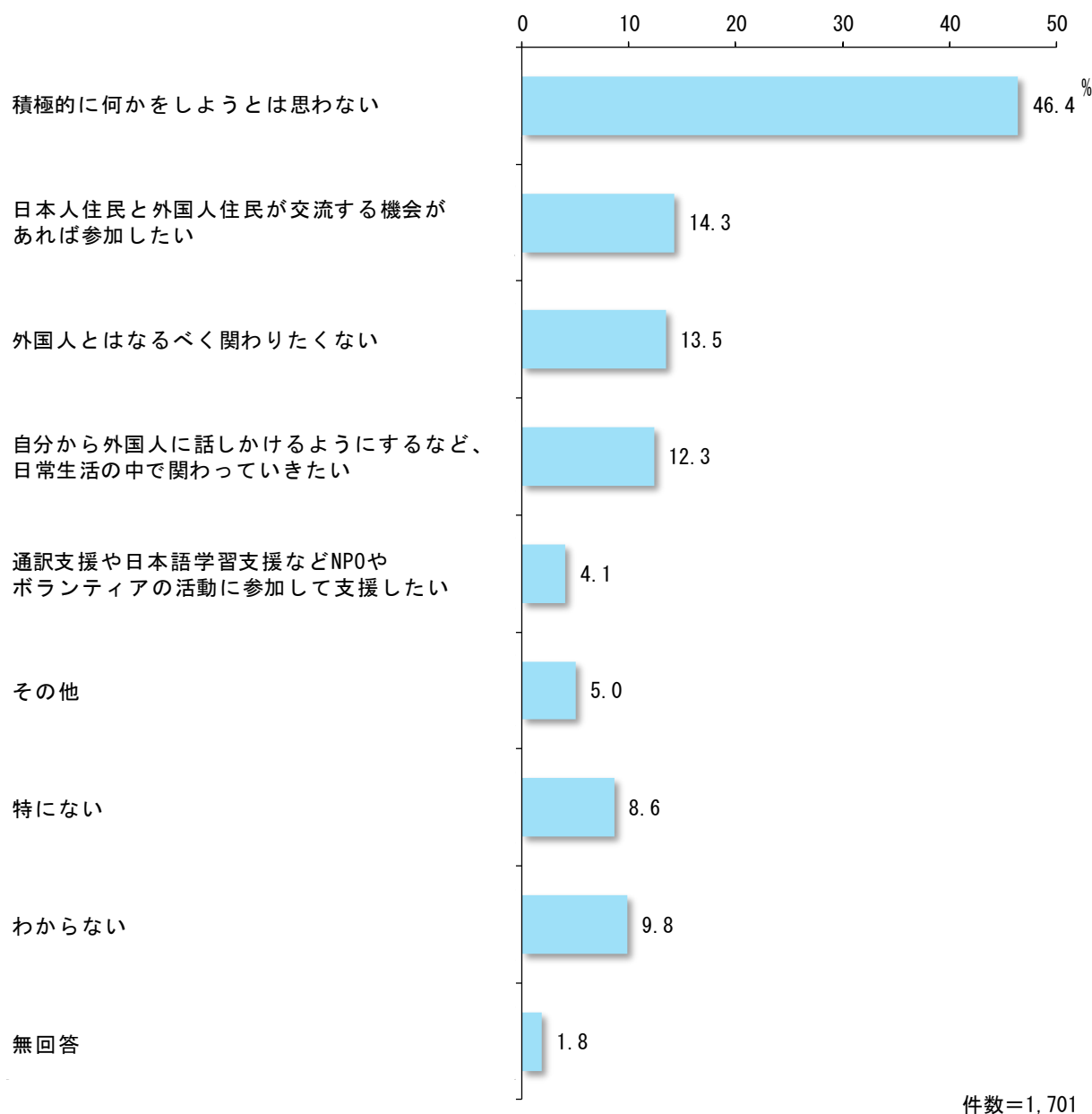
		外国人住民に対し、日本で生活するうえで必要な生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する	外国人住民に対し、日本語の学習を支援する	外国人住民に対する多言語での相談体制や情報提供を充実させる
< 性 別 >				
男	性	69.7	34.1	29.0
女	性	74.6	30.3	31.7
答えたくない・わからない・その他		67.7	32.3	22.6
< 年 齢 別 >				
18・19歳		61.1	47.2	33.3
20～29歳		67.5	30.5	21.7
30～39歳		76.7	30.1	27.7
40～49歳		74.6	31.0	30.2
50～59歳		77.6	32.6	35.6
60～64歳		77.8	34.6	37.9
65歳以上		66.9	31.5	29.0

		外国人住民の子どもに対する教育を充実させる	企業に対し、外国人労働者の労働環境の改善を促す	日本人住民に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る
< 性 別 >				
男	性	26.6	19.1	15.6
女	性	21.6	19.0	18.3
答えたくない・わからない・その他		19.4	6.5	16.1
< 年 齢 別 >				
18・19歳		22.2	16.7	8.3
20～29歳		16.7	13.8	7.9
30～39歳		19.4	15.5	17.0
40～49歳		27.0	16.9	18.1
50～59歳		26.3	19.0	19.6
60～64歳		24.8	26.8	20.9
65歳以上		24.8	20.9	18.0

(4) 多文化共生のためにあなたがしたいこと

「積極的に何かをしようとは思わない」が46.4%

問17 今後、みんなが安心して暮らし、外国人も活躍できる地域社会としていくために、あなたは
どうしたいと思いますか。【○は複数可】



多文化共生のためにあなたがしたいことについて、「積極的に何かをしようとは思わない」と答えた人の割合が46.4%と最も高く、続いて「日本人住民と外国人住民が交流する機会があれば参加したい」(14.3%)、「外国人とはなるべく関わりたくない」(13.5%)の順となっている。

(%)

	積極的に何かをしようとは思わない	日本人住民と外国人住民が 交流する機会があれば参加 したい	外国人とはなるべく 関わりたくない
< 性 別 >			
男 性	47.7	13.1	15.1
女 性	46.2	15.3	11.9
答えたくない・ わからない・その他	25.8	16.1	22.6

< 年 齢 別 >			
18・19 歳	41.7	13.9	16.7
20～29 歳	49.3	10.3	21.2
30～39 歳	53.4	13.6	18.9
40～49 歳	50.0	14.1	16.5
50～59 歳	46.8	14.5	14.5
60～64 歳	45.8	16.3	6.5
65 歳 以 上	41.4	15.7	8.1

	自分から外国人に話しかけ るようにするなど、日常生 活の中で関わっていききたい	通訳支援や日本語学習支援 などNPOやボランティアの 活動に参加して支援したい
< 性 別 >		
男 性	12.7	3.7
女 性	12.3	4.0
答えたくない・ わからない・その他	9.7	9.7

< 年 齢 別 >		
18・19 歳	11.1	11.1
20～29 歳	10.3	2.0
30～39 歳	9.7	2.4
40～49 歳	13.3	4.8
50～59 歳	12.4	2.4
60～64 歳	12.4	5.9
65 歳 以 上	13.9	5.0